

## 国立大学法人宇都宮大学における市職員の「リレー講座」の実施について

本市と宇都宮大学は、平成 19 年 2 月に相互友好協力協定を締結し、相互の発展及び地域福祉の向上のため、まちづくりに関する様々な分野で、組織的・体系的な連携強化を図っております。

この度、連携強化の新たな取り組みとして、平成 20 年 4 月より、テーマごとに各所管課の市職員が宇都宮大学に出向き、まちづくりの実践的な講義を行うリレー形式の講座「実践！宇都宮まちづくり講座」（以下、「リレー講座」）を開講いたします。

### 1 目的

大学生に本市の現状や課題を認識してもらうこと、まちづくりや施策事業等に興味・関心を持ってもらうこと、将来のまちづくりを担う若者を育成することなどを目的とする。

### 2 これまでの経過

- (1) 「国立大学法人宇都宮大学と宇都宮市との相互友好協力協定書」を締結（H19.2.7）。
- (2) 相互友好協力事業推進会議（H19.5.17, H19.11.8）等にてリレー講座の実現に向けた協議を実施。

### 3 期待される主な効果

#### <本 市>

- ・大学生がまちづくりの現状や課題・施策等に興味・関心を持ってもらう機会を得る、将来のまちづくりを担う若者を育成、市職員の政策形成能力の向上等。

#### <大学・大学生>

- ・講義内容の幅が広がる、自分たちが住むまちの現状や課題を学べる等。

### 4 具体的な取り組み体制

- (1) 講 座 名 「実践！宇都宮まちづくり講座」
- (2) 受講対象 共通教育（主に 1・2 年生）、及び「大学コンソーシアムとちぎ連携講座」受講生
- (3) 授業時間 90 分
- (4) 期 間 半年間（前期，4～8 月）、計 14 コマ
- (5) 評価方法 講義中に与えられる課題レポート、期末試験（レポート）を総合的に勘案して評価する。3 分の 2（期末試験を含めて 10 回）以上出席しないと評価の対象としない。

### 5 リレー講座の特徴

- (1) 国立大学法人において、市町村職員が独自でカリキュラムを組み、市町村職員だけで行う講座は先駆的な取り組み。

※宇都宮大学及び市政研究センターの調べでは、上記取り組み事例は見受けられない。

※私立大学では同志社大学において京都市が実施（『都市政策論』，1995～）

(2) 合計 14 テーマについて市職員が講義する（「授業計画（予定）」参照）。

※市長も講義予定。

(3) 県内 18 の高等教育機関の協力組織である「大学コンソーシアムとちぎ」の連携講座として位置付けるため、県内の他大学の学生や一般の方も所定の申込手続をすれば聴講可能。

## 6 今後のスケジュール

- ・ 3 月下旬 「授業の実施に関する契約書」締結
- ・ 4 月中旬 授業開始

## 授業計画(予定)

No	部局	担当課	キーワード	講義テーマ
1		市長／政策審議室	市長／総論	・市長からのメッセージ, まちづくり総論 ・本講義の進め方等
2	総合政策部	政策審議室	総合計画／財政	・総合計画の役割 ・財政状況等
3	行政経営部	行政経営課	自治基本条例	・自治基本条例
4	総合政策部	地域政策室	中心市街地	・中心市街地の現状と課題
5	総合政策部	交通政策課	公共交通, LRT	・公共交通の重要性・利用促進 ・LRT の導入に向けて
6	自治振興部	みんなでまちづくり課	コミュニティ, 協働	・地域コミュニティの現状と課題 ・自治会の役割
7	市民生活部	生活安心課	安全・安心	・安全・安心なまちづくり ・市の犯罪発生状況等
8	保健福祉部	高齢福祉課	高齢化社会	・高齢化社会の現状と課題, 今後の展望
9	環境部	環境政策課	環境	・市環境政策の取り組み ・地球温暖化の現状と課題, 今後の展望
10	環境部	ごみ減量課	ごみ	・市のごみの現状と課題
11	経済部	観光交流課	観光	・市の観光資源・観光振興の取り組み ・シティセールス
12	都市開発部	都市計画課	都市計画, 景観	・都市計画の役割・概要 ・景観プランの概要
13	教育委員会	教育企画課	教育改革	・教育改革について
14	教育委員会	文化課	芸術・文化	・芸術・文化振興の取り組み等
15	期末試験			

※各担当課との調整や公務の都合により、順番や講義テーマ等が若干変更する可能性があります。

